

国営平城宮跡歴史公園 整備・管理運営プログラム

今後取り組んでいく平成 32 年度までの整備及び管理運営方針



はじめに……………	1
基本方針……………	3
整備の重点方針……………	4
管理運営の重点方針……………	6
公園事業の効果……………	7

平成 29 年 3 月

国土交通省 近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所

“奈良時代を今に感じる”公園を目指して

国営平城宮跡歴史公園は、奈良市内に広がる特別史跡平城宮跡を計画地とした国営公園です。世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の一つであり、我が国を代表する歴史・文化資産である平城宮跡の一層の保存・活用を図る目的で、国と奈良県を中心とした地域が連携して整備することが、平成20年度に決定されました。

国営公園としての開園はこれからですが、現在すでに第一次大極殿や朱雀門などの建物復原や遺構表示がなされるとともに奈良時代をテーマとするイベントが開催されるなど、1300年の歴史のロマンを感じさせる空間となっています。

この整備プログラムは、社会資本整備重点計画の計画期間にあわせ、今後国営平城宮跡歴史公園が取り組んでいく平成32年度までの整備に関する重点項目を策定し公表するものです。なお、本プログラムは今後社会情勢等を踏まえ、必要に応じて見直していきます。

■ 広域位置図



■ 位置

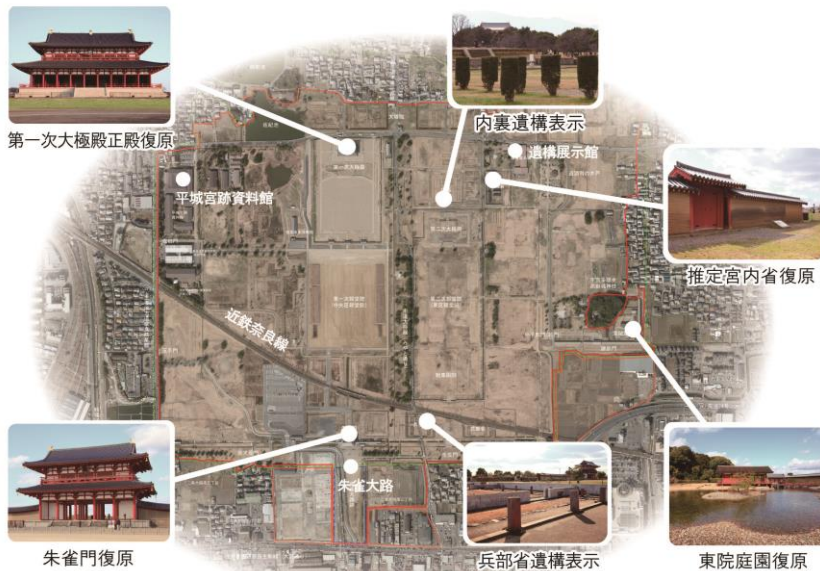
奈良県奈良市

■ 平城宮跡歴史公園の構成・面積

国営公園区域 約 122ha
特別史跡平城宮跡を中心に朱雀大路とその東側

その他区域 約 10ha
南エントランス周辺
奈良県を中心に、国営公園と連携した整備を予定

■ 公園内の主な建物復原と遺構表示（文化庁）



* 公園の名称について

本公園は、平城宮跡を既存の「国営飛鳥歴史公園」と一体的に整備を進めることとして、正式名称を「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園 平城宮跡区域」と命名されました。しかしながら、皆さまに馴染みやすい公園とするため、通常は「国営平城宮跡歴史公園」の呼称を用いることとしています。本プログラムでもこの名称で統一しております。

■ これまでの取り組み

大正 11 年	平城宮大極殿・朝堂院跡が史跡に指定
昭和 34 年	奈良国立文化財研究所による継続的発掘調査の開始
昭和 52 年	「平城遺跡博物館基本構想」に基づき整備事業が本格化
平成 10 年	朱雀門、東院庭園の復原が完成 平城宮跡を含む「古都奈良の文化財」がユネスコの世界遺産に登録
平成 20 年	平城宮跡区域を国営公園として閣議決定 公園基本計画の策定(国土交通省)
平成 21 年	国営公園整備の工事着手(国土交通省)
平成 22 年	第一次大極殿正殿の復原が完成 平城遷都 1300 年祭が開催
平成 25 年	拠点ゾーン整備計画の策定(国土交通省)

平城宮跡を良好な状態で保存するとともに、 往時の歴史・文化を体感・体験できる公園を目指し て、段階的に整備を進めます。

貴重な歴史・文化的資産である平城宮跡を確実に保存し、良好な状態で後世に伝えるとともに、誰もが楽しみながら古代国家の歴史・文化を体感・体験できるよう、早期の開園に向けて、拠点ゾーンなどの整備を進めるとともに、第一次大極殿院の建造物の復原を行います。

● 主な整備内容

公園整備においては、利用サービスの向上を図りつつ、広がりのある空間で往時の宮（都）の歴史・文化をわかりやすく体感・体験できる場として、

・宮跡のガイダンスや公園の利用案内を行う拠点ゾーンの施設整備

・朱雀門から第一次大極殿院に至る宮の中心軸線の確保

・宮の中心を成す第一次大極殿院の建造物復原

を優先し、周辺観光地との周遊促進を目的として設置される奈良県整備区域の交通ターミナル等の施設整備と進捗を合わせて整備を図ります。

● 整備・管理運営プログラム策定の視点～保存と活用の方向性

平城宮跡の 保存

平城宮跡における歴史・文化資産の保存・活用、景観や自然的環境の保全、レクリエーション利用、災害時の避難場所など多様な機能との調和の取れた公園の整備を進めていきます。

整備にあたっては、関係機関との綿密な協力のもと既往の調査結果や新たな発掘調査の成果をもとに、遺構の保存に配慮した設計を行うとともに、地下遺構を傷つけないように細心の注意を払いながら工事を行います。



平城宮跡の 段階的な 整備と活用

関係機関との連携のもと、建造物の復原と周辺空間の一体的整備により、来園者が往時の空間を感じながら、安全・快適に利用できる公園整備を段階的に進めます。

さらに、工事中の情報案内や施設の活用を工夫することで整備の進行状況を明らかにするとともに、現在まで伝承されるいにしへの技術のすばらしさを発信します。

● 第一期開園に向けて拠点ゾーン等の整備を行います

平城宮跡歴史公園の第一期開園に向け、本公園の正面玄関となる拠点ゾーンに、平城宮跡展示館の建築及び展示施設の整備を行います。

平城宮跡展示館では、本公園の見どころ紹介や、利用案内情報の提供とともに、平城宮跡の歴史やその価値についてのわかりやすいガイダンスを行い、来園者を奈良時代にいざないます。



平城宮跡展示館の整備イメージ（左：建物外観、中・右：施設内）

また、朱雀門に面した朱雀大路及び二条大路跡の園路広場の整備を行います。

朱雀大路は、かつての平城京を南北に貫くメインストリートで、道幅は 74mもありました。二条大路は、朱雀大路に次ぐ規模の道で、平城宮の南側に位置し、平城京を東西に通っていました。

これら2つの大路を復元的に整備することにより、往時の平城京の広がりやスケール感を体感することができるようになります。



朱雀大路の整備イメージ（奥は朱雀門）



二条大路の整備イメージ（奥は若草山・春日山）

（参考）

国営公園に隣接した朱雀大路西側では、奈良県が公園利用者の利便性向上を目的とした交通ターミナルや飲食物販等の施設整備を行い、古都奈良の歴史・文化を知る拠点づくりとしての機能を備えます。



朱雀大路西側地区の奈良県施設整備イメージ(施設外観)



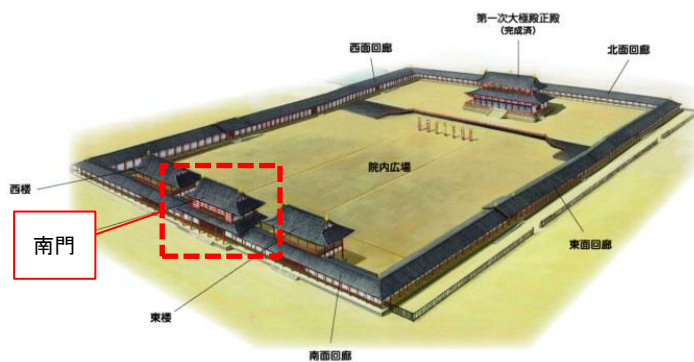
朱雀大路西側地区の奈良県施設整備イメージ(施設内)

● 第一次大極殿院南門なんもんの復原工事に着手するとともに、現在まで傳承される いにしへの技術のすばらしさを発信します

本公園のシンボルゾーンにおいて、往時の平城宮の壮大・壮麗・荘厳さを体感できるよう、これまでの発掘調査や様々な研究に基づき、第一次大極殿院南門の復原工事に着手します。

これにより、かつて即位の礼や朝賀の儀などの国家的な儀式が執り行われた、平城宮のなかでも特に重要な区画である第一次大極殿院の復原が進みます。

また、整備が長期にわたる復原工事について、時々々の状況を、工事現場の公開（魅せる現場）や復原事業情報館の展示などで見て頂き、現在まで傳承される伝統技術のすばらしさを広く発信するとともに、地域の観光振興に貢献します。



第一次大極殿院復原イメージ



南門の現場公開（イメージ）

● 誰もが使いやすい公園づくりを進めます

国営公園として整備することが閣議決定される以前より設置されている園路について、段差を生じている箇所のバリアフリー化などの機能向上を行います。

また、平城宮跡展示館の展示や案内・誘導サインの多言語化、平城宮跡展示館におけるWi-Fi環境の整備を図り、インバウンドなど多様な来園者のニーズに対応します。



既存の園路の更新（左：更新前、右：更新後）

● 往時の歴史・文化を楽しみながら知ることができる管理運営を推進します

平城宮跡にしかない施設や空間等を積極的に活用した利用プログラム等の実施により、国内外、年齢を問わず、来園者の誰もが楽しみながら往時の歴史・文化に触れ、親しみ、その内容を知ることのできる管理運営を行います。

また、継続的な発掘調査・研究成果等を活用し、利用プログラム等に反映していくなど、折々の状況に応じた柔軟な管理運営を行います。

さらに持ち込みによるイベントの実施等に際して利用調整を行うことで、様々な来園者が楽しく快適に過ごせるようにします。



発掘調査（奈良文化財研究所）の現場公開

● 来園者にとって快適性・利便性の高い空間を確保します

歩きやすい園路や広場、快適な休憩所の維持等を通じて、来園者にとって快適性の高い空間を確保します。

また、本公園の利用拠点である平城宮跡展示館の運営にあたっては、平城宮跡内の文化庁や奈良県等関係機関による施設の利用情報や見どころ紹介等を行い、来園者の利便性を高めます。



園内の休憩施設

● 自然的環境の保全とみどりの適切な維持管理を行います

平城宮跡に育まれた自然的環境を保全するとともに、その魅力を来園者に発信します。また、園内の花木等を適切に維持管理し、園内に彩りを加え、平城宮跡の季節に応じた魅力を引き出します。これらを通して、良好な景観を形成し、将来に大切に引き継ぎます。



平城宮跡に育まれた自然的環境

公園事業の効果

- 関係機関と協力しながら地下の遺構に配慮した整備や適切な維持管理を行うことで、平城宮跡の貴重な遺構が保存されます。また、公園として市街地の中に残る自然的環境の保全に努めることで、これらが将来に引き継がれます。
- 周辺の歴史的風土と一体となって往時の雰囲気を感じられる空間整備を行うことで、より幅広い層に向けて平城宮跡への理解や関心が高まるとともに、平城宮跡への来訪が促進されます。特に、第1期開園として拠点ゾーン等が供用開始されることにより、今まで以上に平城宮跡が訪れやすい場所になるとともに、来園者に平城宮跡とその周辺の魅力が伝わることで、地域への来訪者数の増加や周遊観光に貢献します。
- 平城宮跡の復原建物や遺構表示などの歴史的景観を活用した季節ごとのイベントについて、適切な利用調整が図られます。



①遺構の確認と確実な保存 ②平城宮跡に遺された自然 ③往時の空間を感じられる整備
④安全・安心で快適に過ごせる緑地 ⑤適切な利用調整の上で実施されるイベント